

IoT

解説 情報メディア学部 助教 藤井 敬史氏

IoTとは「Internet of Things」の略で、「モノがインターネットと呼ばれる」。テレビ、冷蔵庫、車、腕時計、乾電池、自販機、工場の機械、…など「身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる」仕組みのことです。センサーを搭載したモノが相互通信し、遠隔からも認識や計測、制御などが可能となります。北海道情報大学では様々な分野でIoTに対応する教育を進めています。

北海道情報大学
<http://www.do-johodai.ac.jp/>
 江別市野辺野59-2
 01120-83-4411

オープンキャンパス 10:45 ▶ 15:15
6/18 6/25 7/16 30

アクティブラーニング

解説 社会福祉学科 准教授 大津 晶氏

幅広い分野に好奇心を持って異なる価値観を受け入れながら生涯にわたって学び続けることができる人を「アクティブラーナー」と呼びます。近ごろ多くの大学がそのような主体的・対話的で深い学び—アクティブラーニングのための環境や教育手法を開発していますので、「何を」に加えて「どのように」学ぶことができるのかという観点で比較してみましょう。その際アクティブラーナーの先駆者、つまり優れた研究者(教員)にも注目です。

小樽商科大学
<http://www.otaru-uc.ac.jp/>
 小樽市旭町3丁目番地21号
 Tel 0154(27)5254

オープンキャンパス 10:00 ▶ 15:00
8/8 就職ガイダンス(7/27-28) 就職ガイダンス(7/27-28) 就職ガイダンス(7/27-28)

インバウンド

解説 商学部 観光産業学科 教授 加藤 由紀子氏

「インバウンド」はインバウンドツーリズムの略で、日本では訪日外国人旅行のことを言います。2016年には2400万人以上の訪日外国人を受け入れました。そして、この1年間に旅行者が移動・宿泊し、飲食や買い物等で消費した額は3兆7476億円にもなります。「世界が訪れなくなる日本」を目指し、本学の観光産業学科は、語学力と商学をベースにして政策、地理、地域振興など様々な学問分野のアプローチから研究しています。

北海道商科大学
<http://www.hokkai.ac.jp/>
 〒062-8507 札幌市東区南一条6丁目10番
 Tel 011(841)1161(代表)

オープンキャンパス 10:00 ▶ 16:00
6/25 6/6 7/10/1

AI

解説 仮称情報科学科 教授 松原 仁氏

AIとはコンピュータ(ロボット)に人間のような知能を持たせることを目指した研究領域です。最近AIのさまざまな成果が出て話題になっていますが、コンピュータが作った小説が文学賞の一次審査を通過した研究は本学を中心に進められています。また本学では「未来AI研究センター」を設立して農業、漁業、観光、交通、食品など北海道の産業へのAIの適用を進めています。

公立ほこだて未来大学
<https://www.fun.ac.jp/>
 北海道道庁市島田中町116番地2
 Tel 0138-34-6444

オープンキャンパス 10:30 ▶ 15:30
8/6 模擬授業—インクフラッグ展示 模擬授業—インクフラッグ展示 模擬授業—インクフラッグ展示

学生協働

解説 日本語・日本文学科 教授 名畑 寛則氏

学生協働とは、学生と教職員が同じ目的のために協力して活動することをいいます。業務分担による「共同」とは違い、問題の発見から解決まで、学生が教職員と対等の立場で意見を出し合いながら行うチーム活動が「協働」です。図書館運営を担うラブラリアアシスタント、授業補助や学習支援に携わる学生アシスタント(SA)などがその例です。藤女子大学でも4月からSAを導入しました。学生同士による学習支援の効果が期待されます。

藤女子大学
<http://www.fujijoshi.ac.jp/>
 札幌市北区北16番地1丁目
 Tel 011(736)5599

オープンキャンパス 7/29 7/30
 10:30-15:30 10:30-15:30

QOL

解説 薬政薬具学科 助教 野村 知広氏

生活の質(Quality Of Life:QOL)は、全ての人が担保されるべきものです。しかし、現代社会は、手足を失った方が生活する基盤がまだ整っていません。義肢装具学科では、手足の不自由な方たちのQOLを向上させるため、障がい者スポーツのサポートなどを行っています。学生たちにもスポーツに参加してもらい、障がいのある方達と楽しく学びながら、QOLの向上に必要なことを研究しています。

北海道科学大学
<http://www.hus.ac.jp/>
 札幌市南区南田町4丁目15丁目4-1
 Tel 011(608)2382

オープンキャンパス 11:00 ▶ 16:00
6/25 7/30 10/7

公認心理師

解説 臨床心理学科 科長 佐野 友香氏

心理に関わる日本初国家資格が公認心理師です。心理カウンセラーと呼ばれる分野の資格は民間団体の認定するものだけでした。昨今の社会状況において心理的ケアが重視される背景を受け、2015年に公認心理師法が通常国会で可決され、今年9月までに同法が施行されることとなりました。国内で早期から「こころの専門家」の養成に取り組んできた本学では、公認心理師受験対応カリキュラムを掲げる心理学部臨床心理学科を2018年4月に新設予定です。

札幌学院大学
<http://www.sgu.ac.jp/>
 〒069-8555 札幌市東区南一条11番地
 Tel 011(368)8111(代表)

オープンキャンパス 6/18 7/23 9/24
 11:00▶16:00 13:00▶16:00

生活習慣病(メタボ)

解説 看護学専攻 栄養学科 准教授 鈴木 裕子氏

生活習慣病は食生活や運動不足などの生活習慣が関わり発症する病気の総称で、メタボリックシンドローム(メタボ)は内臓等の脂肪蓄積によりインスリン抵抗性を生じ、高血糖、高血圧などを伴う疾患です。放置すると虚血性心疾患などに進展します。本学では肥満が気になる方を対象に「天使健康栄養クリニック」を開設し、メタボの発症と進展を防ぐ支援を行っています。学生もこのクリニックに関わり実践を通して学んでいます。

天使大学
<http://www.tenshi.ac.jp/>
 〒065-0013 札幌市東区北13番地3丁目30
 Tel 011(414)1051

オープンキャンパス 6/10 7/31 9/4
 11:00▶12:00 10:30▶12:30 13:00▶15:00

道新トレンドキーワード

ニュースに頻繁にでる最近の言葉の意味、あなたはいくつ答えられますか？
 トrendキーワードをその道のプロ=大学の先生がやさしく解説！
 今さら聞けないキーワードの意味、この機会にきちんと知って、もっとニュースを楽しみましょう！

企画制作 / 北海道新聞社広告局

多職種連携

解説 学長 浅香 正博氏

医療で重要なことは、異なった専門的背景をもつ医療者が質の高いケアを提供するために同じ目標に向かって共に働くことです。超高齢社会に突入した日本では、高齢者介護の課題、地域における在宅医療への取り組みなどの問題が生じており、多職種連携は必要不可欠なものとなってきています。5学部8学科を有する本学では、理想的な環境のもと、卒業までに多職種連携の重要性を学び、実践することができま

北海道医療大学
<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/>
 石狩市富岡町金沢1757
 01120-059-222

オープンキャンパス 11:00 ▶ 16:00
6/18 6/5 6/6 9/16

地域創生

解説 経済学部 准教授 大貝 健二氏

地域創生とは、自立的、持続的な地域経済のあり方を追求していく実践的な研究領域です。過疎化や少子高齢化が進む中で、グローバル化に対応しながら地域経済社会を活性化し、安心して生活できる地域をどのように創り出していくのか、その方策が切実に求められています。北海道大学では、「地域研修」や「地域インターンシップ」などのカリキュラムを通じて現場から学び、実践できる人材育成を積極的に行っています。

北海学園大学
<http://hgu.jp/>
 〒062-8605 札幌市東区南一条4丁目47番1-40
 Tel 011(841)1161(代表)

オープンキャンパス 12:30 ▶ 16:00
6/25 6/6 7/10/1

地域包括ケア

解説 法学部 准教授 長谷川 悠二氏

地域包括ケアシステムとは、生涯に慣れた地域で暮らせるよう、必要なサービス(住まい・医療・介護・介護予防・生活支援)が一体的に提供される仕組みのことです。高齢になっても元気で、社会参加しながら暮らせるように、自助・互助・共助・公助の取り組みが重要です。本学では心や身体を元気にするリハビリテーション(医療の知識と技術を「障害予防」に活かせるよう、実践的な学びを通して、地域に貢献できる理学療法士や作業療法士を養成しています。

北海道千歳リハビリテーション大学
<http://www.chitose-reha.ac.jp/>
 〒066-0055 千歳市南一条2丁目10番
 Tel 01123(20)5331

オープンキャンパス 12:30 ▶ 15:50
6/17 6/4 5/6 9/30

チームとしての学校

解説 教育学部 教授 副学長 山谷 秋三郎氏

平成27年12月に中央教育審議会の104回総会において提示された考え方で、学校が個性化・多様化した課題を解決し、子どもたちに必要な資質や能力を育むには「チームとしての学校」の体制を整備することが必要です。学校や教員が、心理や福祉などの専門スタッフと連携・分担して、学校の組織や機能を強化し、子どもたちの指導に当たることに期待されています。本学では「チームとしての学校」の一員として対応できる教員養成に努めています。

北翔大学
<http://www.hokusho-u.ac.jp/>
 江別市文京台23番地
 Tel 011-336-8011(代表)

オープンキャンパス 11:00 ▶ 15:30
6/11 6/5 6/6 7/6 9/10

デザイン思考

解説 人間社会学科 教授 梶谷 崇氏

デザイン思考とは、いま世界的に注目されている「クリエイティブな問題解決」の手法です。少子高齢化やグローバル化、情報技術の発展などによって急激に変化している現代。こうした予測不可能な時代には、これまでの常識や方法論が通用しません。そこで、従来とは違う視点で「問題の本質」を発見し、新しい価値を生み出すことで問題を解決していく「デザイン思考」が、企業や社会のさまざまな現場で求められるようになってい

北海道科学大学
<http://www.hus.ac.jp/>
 札幌市南区南田町4丁目15丁目4-1
 Tel 011(608)2382

オープンキャンパス 11:00 ▶ 16:00
6/25 7/30 10/7

ビッグデータ

解説 情報電子工学系学科 教授 岸上 順一氏

現在我々はデジタル革命のど真ん中におり、日々膨大な情報を享受し、発信しています。そういうデータを捉え、本質的に何が起きているのかを知り、これからどういことが起こるのかということ予想するのがビッグデータの研究です。これは何も大げさなことではなく、本学ではサケの遡上(そじょう)を分析してできるだけ多くの漁獲高を上げるための条件を研究したり、様々なオープンデータをうまく使うことで毎日の生活を便利にすることなどの推進に活用しています。

室蘭工業大学
<http://www.muroran-it.ac.jp/>
 室蘭市末吉町2丁目1
 Tel 0143(46)5153

オープンキャンパス 9:30 ▶ 15:50
8/5 キャンパスツアー—特別企画—オープンラボラトリーなど

ラーニング・コモンズ

解説 社会福祉学科 教授 中村 和彦氏

ラーニング・コモンズ Learning Commonsとは、大学図書館等に設置される「学びのための共有の場」を意味しますが、書籍や資料の閲覧に留まらず、ICT機器や学習スペース、相談係等を備え、自習やグループ学習、ディスカッション等、様々な形態に対応できる「開放的な学習空間」のことをいいます。本学でも、多くの学生が昼夜、曜日を問わず利用し、「主体的な学び」を継続、日々、深化させていきます。

北星学園大学
<http://entry.hokusei.ac.jp/>
 札幌市東区北一条西3丁目3-1
 Tel 011(891)2731(代表)

オープンキャンパス 12:30 ▶ 16:00
6/24 6/5 9/23

6次産業(食Pro.)

解説 地域産業経営学科 助教 小川 繁幸氏

「食Pro.」というキーワードを聞いたことがありますが、これは食通の用語を指すものではありません。今や「農」の領域は「食」や「観光」の領域にまで広がった多角的経営の視点が必要で、成長産業としての農業(生産:1次産業、加工:2次産業、流通・販売・サービス:3次産業の連携—食の6次産業化)をデザインし、きちんと実践できる人材を確保するための資格、それが「食Pro.」の6次産業化プロデューサーです。

東京農業大学 北海道オホーツクキャンパス
<http://www.nodai.ac.jp/>
 網走市大倉1596
 Tel 0152(40)3514

オープンキャンパス 7/29 8/30 9/19 9/26
 10:00▶16:00 10:00▶15:00